

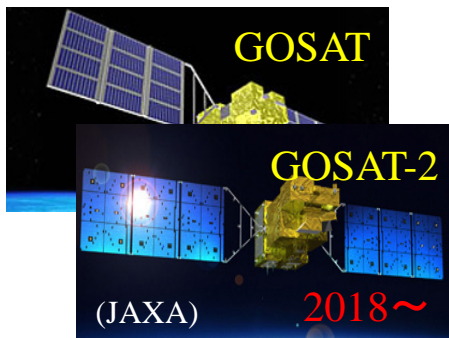
人工衛星データを用いて大気環境を調べてみよう

大気海洋研究所 准教授 今須良一

地球温暖化の原因が二酸化炭素(CO₂)やメタン(CH₄)であることは広く知られていますが、それらの分布や動きを人工衛星データを用いて調べる研究は始まったばかりです。本実習では、日本や米国の衛星データを地図上にプロットし、その濃度分布や変化の様子を調べます。実習の具体的な実施手順は、以下の通りです。

- ・感心のあるデータ(ガスの種類)、地域の選択
- ・提供サイトからの観測データのダウンロード
- ・解凍・データ抽出作業
- ・データの地図上へのプロット(可能ならアニメーション化)

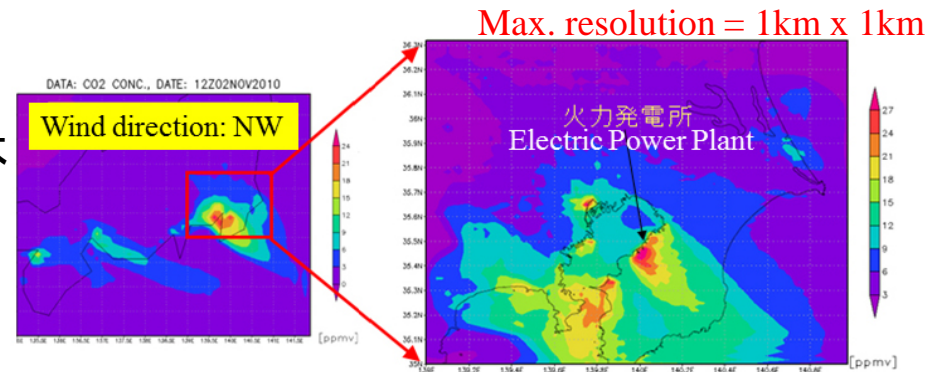
GOSAT衛星(日本)



OCO-2衛星(米国)

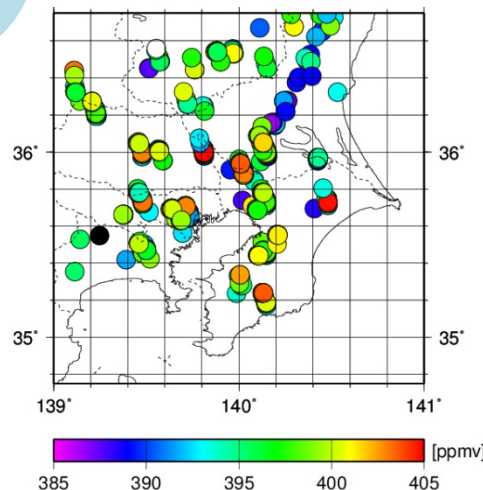


数値モデルによるCO₂濃度分布予測



観測データのプロットの例

GOSAT衛星データ



OCO-2衛星データ

